



小金井 しあわせプラン

第4次小金井市基本構想・前期基本計画

| 概要版



みどりが萌える・子どもが育つ
・きずなを結ぶ 小金井市

どうなる?これからの小金井市

小金井市の将来像

NEW!

重点プロジェクト

しっかり進めます

4つの柱

インタビュー

稲葉市長 × 武藤会長

小金井市はとていいまちですね

あなたの
“しあわせなこと”
”しあわせな瞬間”は？

友達との
おしゃべり
(10代・女性)

山に登って、
青い空を見た時
(20代・男性)

自分の子どもの
成長を感じる瞬間
(30代・女性)

公民館の講座で
初めて俳句を書き、
講師にほめて
もらったこと
(50代・女性)

家族の笑顔
(50代・女性)

我が子が元気に
生まれてきてくれたこと。
感動しました！
(20代・女性)

大好きな仲間と
一杯やりながら
語りあうことです
(50代・女性)

家族で
家にいる時
(10代・男性)

♪ 小金井市の将来像 ♪

みどりが萌える・子どもが育つ ・きずなを結ぶ 小金井市

「みどり」「子ども」「きずな」をキーワードとした、

10年後の小金井市の将来像です。

● **みどりが萌える** ... みどりを守り育てる
自然の保全・創出

ことを目標とし、みどりをはじめとする
を推進します。

● **子どもが育つ** ... 次世代の夢を育み、
まちの発展を目指し

全ての世代のしあわせが増進する、
ます。

● **きずなを結ぶ** ... 参加と協働を進め、
思いやりのあるまち

市民がつながり、支え合う、
の連帯を深めます。

昼休みに
愛妻弁当を開けた瞬間
(30代・男性)

週末にサッカーをして
汗を流している時
(40代・男性)

長男も長女も元気に通学し、
友達とも良好で
毎日楽しそうに
している姿を見てる時
(40代・女性)

家族全員で
美味しいものを食べて
楽しく話をしている時
(40代・女性)

「こがねい？
知ってるよ」と
言われた時
(40代・男性)

好きな音楽を
聴いている時
(20代・男性)

休日の二度寝。
うたたね。
(20代・男性)

バンドの演奏で、
バッチリ音があった瞬間。
一体感が生まれた時。
(30代・男性)

家族、友人、仕事、
それぞれが大事だと
思えること
(30代・女性)

帰宅するまで
夕食を家族が
待っていてくれること
(10代・女性)

クリスマス・イブに、
なかなか手に入らない
和菓子を突然もらったこと
(30代・女性)

家族が私の話を聞き、
私を見て
笑ってくれる瞬間
(10代・女性)

書くことを
募集していたら
応募すること
(60代・女性)

あたたかい
トイレに座った瞬間
(50代・男性)

友達と
遊んでいる時
(10代・男性)

ミニコラム
「小金井しあわせプラン」とは？
将来像を実現するための第4次基本構想・前期基本計画の愛称で、市民のしあわせを増進することを目的に策定されました。
そこで、今回概要版を作成するにあたり、市民の皆さんに「あなたの“しあわせなこと”“しあわせな瞬間”」を募集しました。ここではその一部をご紹介します。
※市のホームページでは、全件を紹介しています。

重点プロジェクト

「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」を着実に実現するために、今後5年間で6つの重点プロジェクトを進めます。

小金井市の抱える課題や市民のニーズを踏まえて、4つの分野を横断した6つのテーマを新たに設定しました。

みどりと環境プロジェクト

こんなまちを目指します！

- 市内のどこでも身近にみどりを感じられる、みどりあふれるまち
- ごみの減量化・資源化を進め、全国でもトップクラスのごみ行政を展開するまち
- 地球温暖化対策などが推進され、公害の少ない環境にやさしいまち

主な事業等の紹介

- ・花壇ボランティア、環境美化サポーターなどの充実
- ・小長久保公園の整備
- ・市立小中学校の校庭芝生化の推進
- ・ごみの処理体制の整備
- ・有機性資源の循環システムの構築
- ・(仮称)エコ・モデルハウスの整備 など



子育て・子育て支援プロジェクト

こんなまちを目指します！

- 安心して子どもを産み育てることができる、子育てが楽しくなるまち
- 子どもたちが夢を持ってのびのびと育つ、子どもの笑顔があふれるまち
- 児童生徒一人ひとりが夢を持っていきいきと学習できる、地域に開かれた学校のあるまち

主な事業等の紹介

- ・一小・南小地区児童館の整備
- ・けやき保育園・ピノキオ幼児園の移転
- ・定員増に向けた学童保育所の整備
- ・発達支援センターの整備
- ・放課後子ども教室の拡充
- ・児童生徒によるボランティア活動の充実 など

まちのにぎわい創出プロジェクト

こんなまちを目指します！

- 駅周辺のまちづくりと道路整備などが進んだ利便性の高いまち
- 市内の商店街などがにぎわう、活力のあるまち
- 市内外から多くの人々が訪れ、楽しめるまち

主な事業等の紹介

- ・JR中央本線連続立体交差事業の推進
- ・武蔵小金井駅南口市街地再開発事業の推進
- ・東小金井駅北口土地区画整理事業の推進
- ・市民交流センターの活用
- ・商店街振興モデル地区の推進 など

ミニコラム

あなたが自慢できる
小金井市の良いところ (上位3位)

- 1位 水とみどりが豊かな自然がある (88.6%)
- 2位 災害に強く、犯罪が少ない (23.4%)
- 3位 生活に必要な基盤が整備されている (16.6%)

(資料：市民意向調査(平成20年))

“水とみどりが豊かなこと”は市民が誇りにしている小金井市の良いところ。これからも大切に守り育てる必要があります。

ミニコラム

子育て・子育てを地域で応援します

子育て・子育てを応援するために、市では、子育て情報を1冊にまとめた、みんなで子育て応援ブック「のびのびこがねいっ子」を作成し配布しています。また、子ども家庭支援センターでは親子あそびひろば・子育て相談などに取り組んでいます。

その他にも、市内ではNPOや市民団体等により、育児サイトの運営、コミュニティカフェや子育て関連講座の実施や子どもの遊び場づくりなどバラエティーに富んだ取組が行われています。詳しくは、『のびのびこがねいっ子』で紹介していますのでご覧ください。

● 小金井市に生まれた新しい命

- 平成21年度 934人
- 1日当たり 2.6人

生涯いきいき安心プロジェクト

こんなまちを目指します!

- 高齢者が地域で活躍し、生きがいをもっていきいきと暮らしているまち
- 充実した生活支援により、関わりの必要な高齢者も安心して暮らせるまち
- 気軽にスポーツに親しめ、充実した医療体制の下で健やかに暮らせる健康長寿のまち

主な事業等の紹介

- ・ 高齢者いきいき活動の推進
- ・ 介護予防事業プログラムの充実
- ・ 認知症高齢者の支援
- ・ スポーツ教室・スポーツ大会の充実
- ・ がん検診の充実
- ・ 休日・休日準夜診察の継続 など



きずなを結ぶまちづくりプロジェクト

こんなまちを目指します!

- 地域での生活を楽しみ、活動を通してふれあえる、きずなを結ぶまち
- 幅広い世代が参加してまちづくりを進める、参加と協働のまち
- 市民ニーズを起点として、市民の参加と協働によって進められる市政

主な事業等の紹介

- ・ (仮称)市民協働支援センターの整備
- ・ (仮称)貫井北町地域センターの整備
- ・ コミュニティポータルサイト拡充の支援
- ・ 市民意向調査の充実
- ・ 審議会などの公募市民の拡充
- ・ 市職員への市民協働研修の充実
- ・ 施策マネジメントの実施 など

共生社会推進プロジェクト

こんなまちを目指します!

- 誰もがいきいきと暮らせるノーマライゼーションのまち
- 人権を尊重し、ワーク・ライフ・バランスを画のまち
- 誰もが不安なく暮らす安全・安心なまち

るまち

ライフ・バランスを画のまち

とができる、



主な事業等の紹介

- ・ 障害者就労支援センター事業の充実
- ・ 高齢者自立支援住宅改修給付事業の充実
- ・ 非核平和事業・人権啓発事業の充実
- ・ (仮称)男女平等推進センター整備の検討
- ・ 自主防災組織の育成
- ・ ことがねいし安全・安心あいさつ運動の充実 など

ミニコラム

元気な高齢者がたくさん!!

小金井市には元気な高齢者がたくさんいます。それを示すのが、例えば市民の平均寿命の長さやシルバー人材センターの組織率の高さです。

平均寿命(平成17年度)

小金井市 男性81.0歳 女性86.9歳

東京都 男性79.4歳 女性85.7歳

(資料:国勢調査)

シルバー人材センター

組織率(平成21年度)

小金井市 4.0%

26市平均 3.5%

東京都平均 2.5%

(資料:(社)全国シルバー人材センター事業協会調べ)
※組織率:60歳以上の人口に占める、シルバー人材センター会員数の割合

ミニコラム

地域に知人は何人いますか?

だれもない	20.6%
1~4人	25.9%
5~19人	28.0%
20人以上	16.0%
無回答	9.6%

(資料:市民意向調査(平成20年))

おおむね年代が高くなるほど知人が多く、60歳以上で「5人以上」と答えた人は2人に1人に達する一方で、29歳未満では2人に1人近くが「だれもない」と答えています。

知人になるきっかけは、子ども、町会・自治会、趣味の活動を通してなど様々ですが、きずなの輪が広がって、たくさんの方が「地域に知人や友人が多くいて楽しい」と感じられるまちになれば、今までよりもっと小金井市に愛着が持てるはず。地域のきずなは地域力のバロメーターなのです。

4つの柱

「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」の実現に向け、4つの分野ごとに目標を立て、今後5年間で具体的な取組を進めます。



1

環境と都市基盤

みどりがあふれる快適で人にやさしいまち

みどりと水を守り育てつつ、駅周辺をはじめとするまちづくりを進め、快適で人にやさしいまちづくりを進めていきます。また、地域から地球環境を保全する取組、可燃ごみの安定的な処理体制の確立や更なるごみ減量、市街地・住環境及び道路の整備、施設と道路のバリアフリー化などを推進します。

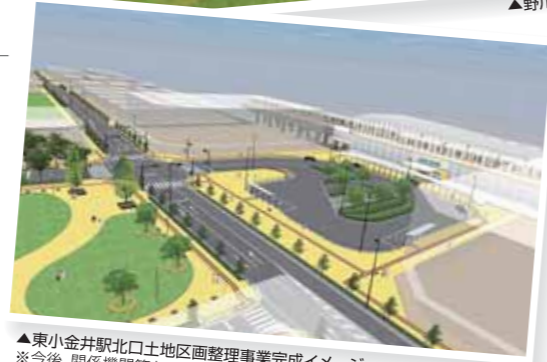
■ 市民1人あたりの公園の整備面積



■ 市民1人1日あたりのごみ総排出量



※平成23年度予定の一般廃棄物処理基本計画見直しにおいて設定する。



▼黄金井名物市



2

地域と経済

ふれあいと活力のあるまち

市民活動をいかして、コミュニティの再構築を図るとともに、地域に根ざした産業づくりを進め、ふれあいと活力のあるまちづくりを進めていきます。また、防災・防犯・危機管理などの安全な地域づくり、産学・商工農の連携、安心な消費生活支援などを推進します。

■ 桜まつりなど※の来場者数



※桜まつり、阿波おどり大会、お月見のつどい

■ 地域活動への市民の参加率※



※委員や団体などの構成員などとしての活動の平均参加率

3

文化と教育

豊かな人間性と次世代の夢を育むまち

学校での教育活動、学習環境を更に高め、図書館など生涯学習の場の充実を図り、豊かな人間性と次世代の夢を育むまちづくりを進めていきます。また、市民交流センターなどを活用した文化・芸術の振興や、歴史的文化遺産の保全と継続、人権・平和・男女共同参画の取組、スポーツ・レクリエーションなどを推進します。

■ 社会貢献活動に関わっている児童生徒の延べ人数



■ 図書館における住民1人当たり図書貸出冊数



▼アートフル・アクション



4

福祉と健康

誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち

子育て・子育て支援を進めるとともに、高齢者が生きがいを持って安心して過ごせる、誰もが健やかに安心して暮らせる思いやりのあるまちづくりを進めていきます。また、ノーマライゼーション、障がいのある人や低所得者・ひとり親家庭への福祉、保健活動や医療体制の充実などを推進します。

■ 待機児童数

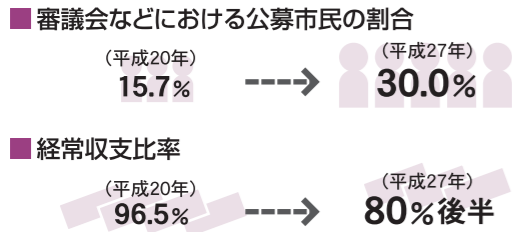


■ 高齢者いきいき活動の参加延べ人数



計画の推進

将来像の実現に向けて、重点プロジェクトと4つの柱を推進するために、市民参加・市民協働、行政経営、計画的行政の推進、財政・財務の健全化を図ります。

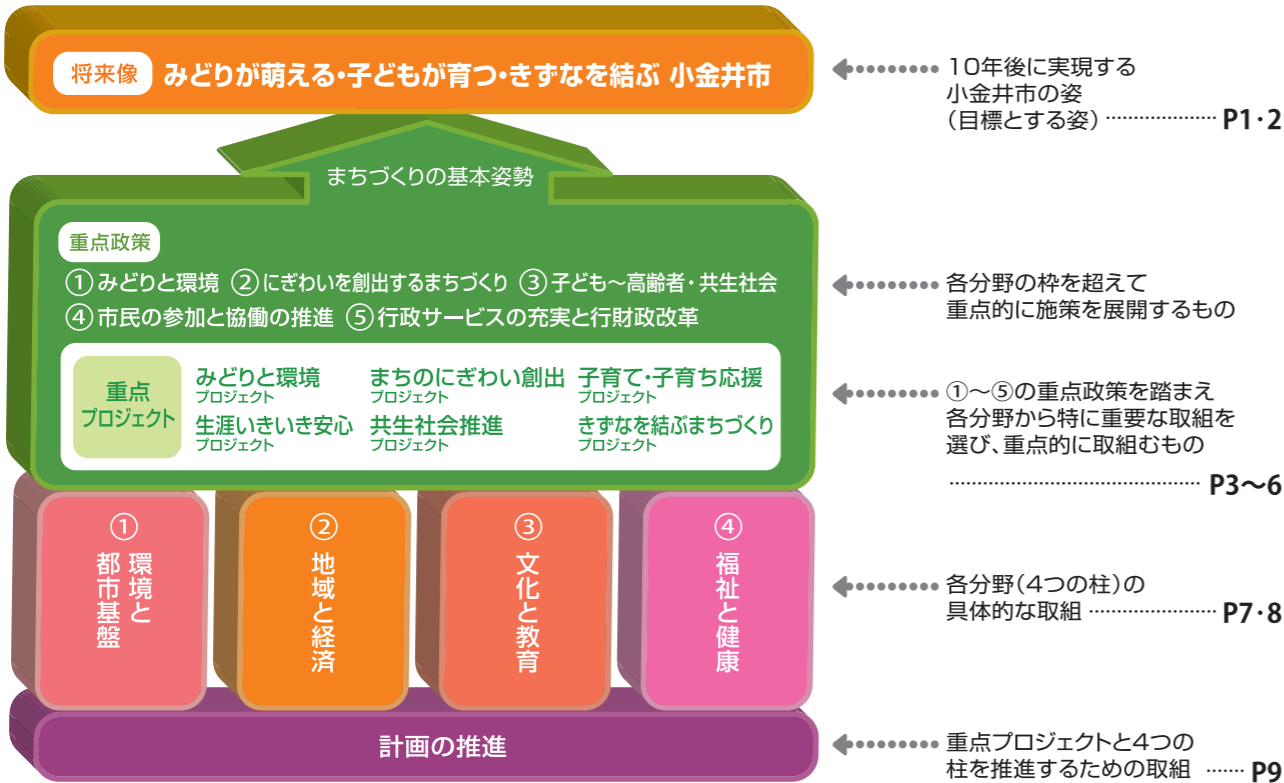


▲市民協働ワークショップ

第4次小金井市基本構想・前期基本計画とは??

第4次基本構想は、将来像を実現するため、施策の大綱を明らかにした平成23年度から32年度までの構想です。前期基本計画とは、基本構想に基づき施策を具体化した、平成23年度から27年度までの計画です。

計画期間	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
第4次基本構想(10年間)	第4次基本構想(10年間)											
前期基本計画(5年間)	前期基本計画(5年間)					後期基本計画(5年間)						
実施計画(3年間)	実施計画(3年間)			実施計画(3年間)			実施計画(3年間)			実施計画(3年間)		
予算	予算											
事業の執行	事業の執行											



インタビュー

稲葉市長 × 武藤博己会長 (法政大学大学院教授)

— ポイントは「私たち」。

インタビュー(以下I): 小金井しあわせプラン(以下「計画」)のポイントはズバリ何でしょうか?
 武藤会長: 「私たち」です。

市の計画という、市役所が進めるものと思う方もいるかもしれません。前の計画ではそうなっています。そこで、審議会で話し合い、みんなの「しあわせ」のために、みんなで進めようということで「私たち」を主語にしました。審議会では、市民懇談会や市民フォーラムを開催して、たくさんの方からご意見をいただき、**市と市民が一緒になってつくり、進めていく“市民の計画”**であることが、今回の大きな特徴だと思っています。

それに、「成果・活動指標」を設けたこともポイントですね。これまでは、目標が抽象的で結果が見えにくかったので、今回は**指標を見える形にした**ことに大きな意味があると思います。

稲葉市長: 市でも**多くの市民の声**を取り入れたいと思い、いろいろ工夫しました。通常のアンケートに加えて、グループインタビューや、ランダムに選んだ市民にご参加いただく市民討議会も開催しました。また、市の将来像の原案も中学生に考えてもらいました。



稲葉市長

— 委員も事務局もさすがにぐったり(笑)

I: 審議会の雰囲気はどうでしたか?
 武藤会長: 皆さん、とても熱心で盛り上がっていました。審議会と起草委員会を合わせると94時間余りも話し合ったこととなります。これほど議論した審議会も珍しいと思っています。

I: 審議会や起草委員会でのエピソードがあったら教えてください。
 武藤会長: 何と言っても起草委員会ですね。ある日など、午前10時から午後5時近くまで、延々と議論しました。終わった時は委員も事務局も、さすがにぐったり(笑)。数十ページに渡る会議録の確認も一苦勞でした。

でも、そこまできちんと議論を尽くすことは、とても大事なことです。

あと、市民フォーラムも印象深かったです。説明から質問の受け答えまで、すべて審議会委員が中心になり、車座で市民・審議会・市が話し合いました。こういう場への参加は初めての方もたくさんいらっしゃって、いい議論ができたのは嬉しかったです。こういう議論が本当に大切だと思います。



武藤会長

— 小金井市は、とてもいいまちですね。

I: 最後に、これからの小金井市についてメッセージをお願いします。

武藤会長: 小金井という環境のいいまちというイメージですが、今回の計画づくりを通じて感じたのが、「**市民力の高さ**」。小金井のことが好きで、何かをしたいと思う人が多くなれば、地域はもっともっとよくなるはずですよ。とてもいいまちだと思います。是非、市民の皆さんにも市政についてもっともっと議論していただき、市と市民が作った“市民の計画”を、「参加と協働」により一緒になって進めていただきたいと思います。

稲葉市長: 私も、小金井市は潜在能力の高い市だと思っています。課題は山積していますが、次世代を担う子ども達のためにも、将来像の実現に向けて、責任を果たしていきたいと思っています。



● 第4次基本構想・前期基本計画策定の経過

- 市** 長期総合計画策定本部(平成20年2月設置)は平成22年6月までに全16回、分野別専門部会は全7回、長期総合計画策定研究会は全25回開催
- 審議会** 公募市民を含む長期計画審議会(平成21年6月設置)は平成22年6月までに全16回、審議会委員有志による長期計画起草委員会は全16回開催
- 市民参加** 市民意向調査(平成20年7月及び平成22年3月)、子ども懇談会(平成21年5月)、市民討議会(平成21年8月)、市民懇談会(平成21年12月)、市民フォーラム(平成22年3月)、パブリックコメント(平成22年5月)を実施



小金井 しあわせプラン

第4次小金井市基本構想・前期基本計画

| 概要版

平成23年3月

小金井市企画財政部企画政策課

〒184-8504 東京都小金井市本町6丁目6番3号

TEL 042-387-9800 FAX 042-387-1224

<http://www.city.koganei.lg.jp/>



古紙を配合しています